

# 「目標」「人脈」「自分磨き」

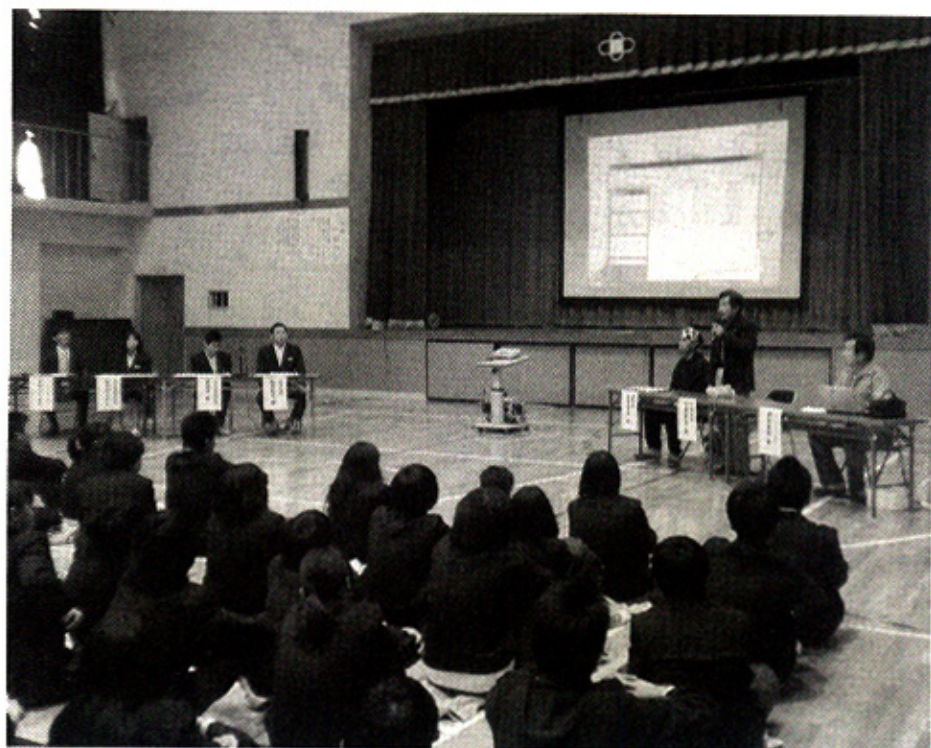
## 育親中 OB 招き仕事や人生学ぶ

育親中学校（友松勝之校長）で11月22日、社会人から話を聞くパネルディスカッションが行われ、中学生に「仕事」とは何かが語られ、今後の進路を考えるヒントになった。

同事業は、亀岡市が取り組んでいる学校支援地域本部事業の一環で開催。地域の力を学校教育へ反映させることがねらい。

当日は、同校の卒業生で校区エリアで仕事をする株式会社イーエル・オカモトの岡本重和さん（昭和36年卒）、竹岡醤油の竹岡忠晃さん（昭和35年卒）、砥取家（ととりや）の土橋要造さん（昭和34年卒）を学校に招き、生徒会長らとパネルディスカッションを通じて仕事の現状や中学生へのメッセージが語られた。

岡本さんは「まず目標を立てること。それに甘んじることなく、あえてその上の目標に向かって努力すること。人をごまかすことはできても、自分ではごまかせない」と論じ、竹岡さんは「常に自分を磨くことを忘れずに、やりたいことをやり抜くことが大事」と語った。土橋さんは「人と人のつながりこそ最も大切なこと。仕事はもちろん、生きていくことは1人ではできない。夢に向かって頑張つてほしい」とエー



3人のOBが仕事や人生に必要なことを話した